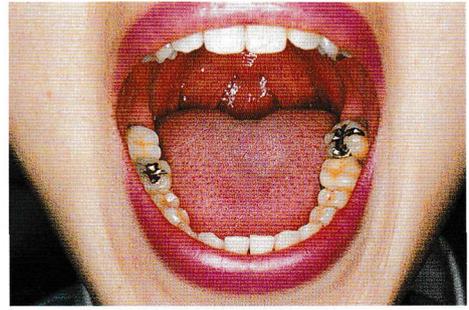


ソフトフードを口の中に入れる

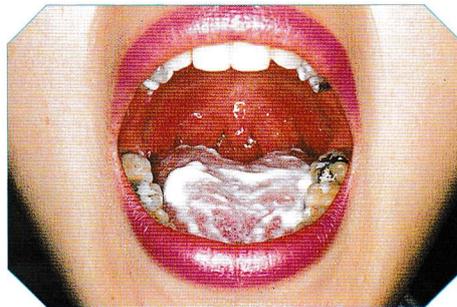


嚥下した後、舌背に残っているかどうかを確認する

指導のポイント

- ・嚥下後、ソフトフードが舌背に残っている場合は、舌全体の口蓋に吸いつく力が弱いと考えられます。できるだけ一度の嚥下でソフトフードがすべてなくなるようにしましょう。

注意 舌背にソフトフードが残らないように。



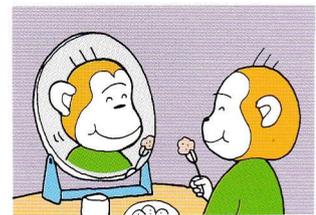
舌背にヨーグルトが残っている状態

8-6 リップエクササイズ

リップエクササイズ (P265~270参照) の中から患者さんの必要に応じた練習を選んで行います。

8-7 スナックプラクティス

テーブルに鏡を置き、鏡を見ながら食事をします。正しく嚥下できているかどうかを、自分で判断しながら食事をします。あらゆる食べ物と飲み物を正しく嚥下できるようにします。



8-8 ポスチャー

就寝時と起床時に、舌が口蓋についているかどうか、確認します。起きているときも寝ている間も、舌、口唇がつねに正しい位置にあるようにします。

